



今と昔の川崎区と大田区

キングスカイフロントと多摩川スカイブリッジを渡り
羽田イノベーションシティの見学



作成者 根岸 雅明

川崎の産業観光を支援する会

川崎の産業観光を支援する会
～キングスカイフロントと多摩川スカイブリッジを
歩いて羽田イノベーションシティ見学の記録～

【概要】見学会に参加された皆様。お疲れさまでした。今回のツアーは応募開始と同時に定員に達し、皆様の関心の深さに驚きました。参加出来なかった皆様には申し訳ありませんでした。このツアーは引き続きテーマを絞って視点を変えてまた催行していきたいと考えています。その節はよろしく願いいたします。

コロナ禍で久しぶりにお会いした皆さんと旧交を温めるような感じでお喋りしながらの見学会でとても楽しかったです。

さて、今回のツアーは自分なりに4つのテーマとして見学会を見ました。一つ目は今と昔の川崎区と大田区の歴史を知る。二つ目はいすゞ自動車川崎工場の跡地に開発されたキングスカイフロントという先端医療技術の研究開発施設やそれに伴う諸問題のテーマを実験研究する施設を知る。3つ目は羽田と川崎を結ぶ多摩川スカイブリッジとその周辺の自然環境を知る。4つ目は羽田イノベーションシティを知る。でした。

盛りだくさんの情報でなかなか頭に入ってきませんでしたが、とてもいい勉強になり学ぶことや感じることもたくさんありました。皆さんはいかがでしたでしょうか。天気も良くとても楽しめたツアーでした。

今と昔の川崎区と大田区。多摩川を挟んで二つの街は昔から渡しで交流をしてきました。そして最初の見学地では旧富士製鋼の跡地を見学しました。今は川崎大師の交通安全の車の祈祷所になっていて、周辺は大規模マンションや商業施設に変わってきました。建設機械のメーカーのコマツの教習所もあり時代の移り変わりを目の当たりにしました。

多摩川の堤防に出て下流に向かって歩くと、過ってこの地の工場群に多摩川から水運で運ばれてきた原材料や製品を荷役しただろうと思われる水門がありました。往時がしのばれました。すぐ近くに大師橋や首都高の橋が見られました。

キングスカイフロントでは先端医療技術の研究施設などの説明を受けました。ここでは約1400名の人々が働いているそうです。研究員が600名でその中で300名の方が博士号を取得しているそうです。日本人の研究者だけでなく中国人や来日して10年になるママさん研究員もいらっしやるとの事。自国だけでなく世界の国々の研究員が集まり研究している姿を知るとなぜが嬉しくなりますね。世界はこうあって欲しいですね。人生100年時代に向けての課題点なども研究しているとの事でした。超高齢化に向けての医療やそれを補助する技術も取り組んでいるのですね。例えばロボットスーツの開発。機能が衰えた箇所を援助する仕組みのロボットです。一人暮らしになったらおしゃべりもできる、炊事から洗濯まで日常の生活に

困らないようなロボットがサポートできるのかと思うとなにか現実離れを感じました。このような未来もすぐなのでしょうね。がんや認知症や難病を克服する治療が早くできるといいなと思いました。

多摩川スカイブリッジはとてもスレンダーでスマートの橋だなというのが第一印象でした。多摩川の流れを阻害しないように橋脚を2本作り桁を支えています。ベイブリッジやつばさ橋、大師橋のような斜張橋構造ではなくとてもシンプルでいいなと思いました。まったく周辺の景色に溶け込むようでした。橋の存在感、主張していないのがいいですね。水辺のアシや水鳥ともマッチしていてとても心安らぐ景色でした。橋の色はパープルブルーだそうですが、色を全く感じさせないところがいいと思いました。

羽田イノベーションシティの入り口では堤防のスカシユリが満開でした。また日航機の墜落の記念碑もあり往時の事故の記憶がよみがえりました。24名の方々がなくなられたとの事。

羽田イノベーションシティでは遅いランチをいただきました。広くてとても清潔感のあるレストランでした。

食事後、羽田イノベーションシティの施設の見学。トップガンの戦闘機のシュミレーションセンター、縁日をテーマにいたテーマパーク、料理を作り配膳までするロボット、屋上の足湯から眺める羽田空港の飛行機の離着陸などは近距離でとても迫力がありました。大勢の市民が楽しみ憩う威圧感のない解放された空間の施設だなと思いました。2023年には臨床のできる先端の医療施設もできるという。ますます期待が高まりました。

最後の見学はこの羽田空港が戦後拡張するのにあたり旧三町が強制移転された話。旧三町の移転があり、今の羽田空港があることを忘れないで欲しいとの記念碑の願いでした。ここで解散として、何人かで穴守稲荷の鳥居を見学して当時の移転の歴史などを知りました。川崎駅のバスに乗って帰宅の途につきました。

盛りだくさんの見学で皆さんお疲れではなかったでしょうか。なかなかこのように川崎区と大田区の今と昔を知るような機会はなかったと思います。とても勉強になる見学会だったと思います。参加された皆様ありがとうございました。

以下はその記録です。

【日付】 2022年6月5日（日）京急川崎駅 10:00 集合。

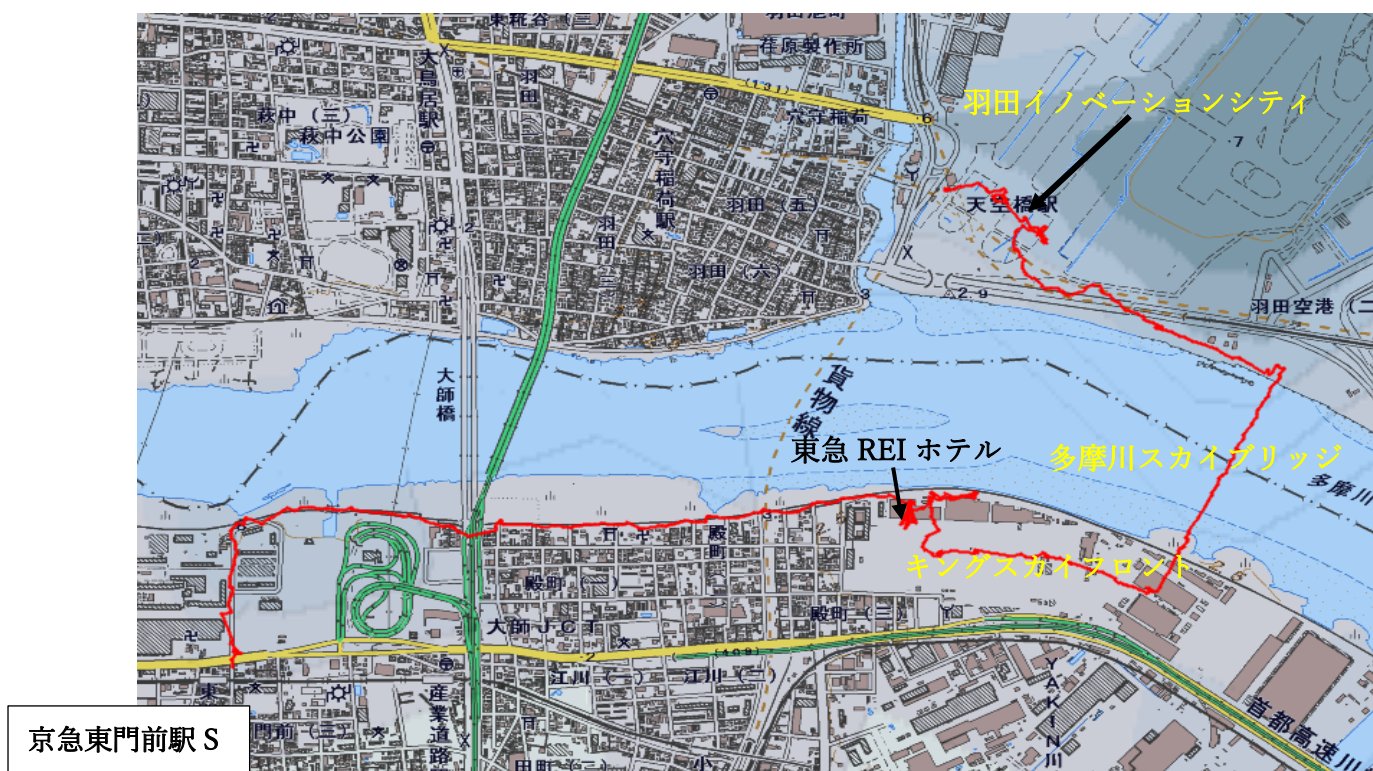
【場所】 川崎市川崎区殿町3丁目地内、東京都大田区羽田1丁目地内。

【目的】 川崎区、大田区の今と昔を知る。キングスカイフロント見学と多摩川スカイブリッジを渡り羽田イノベーションシティの見学。

【人数】 24人（男性16人、女性8人）

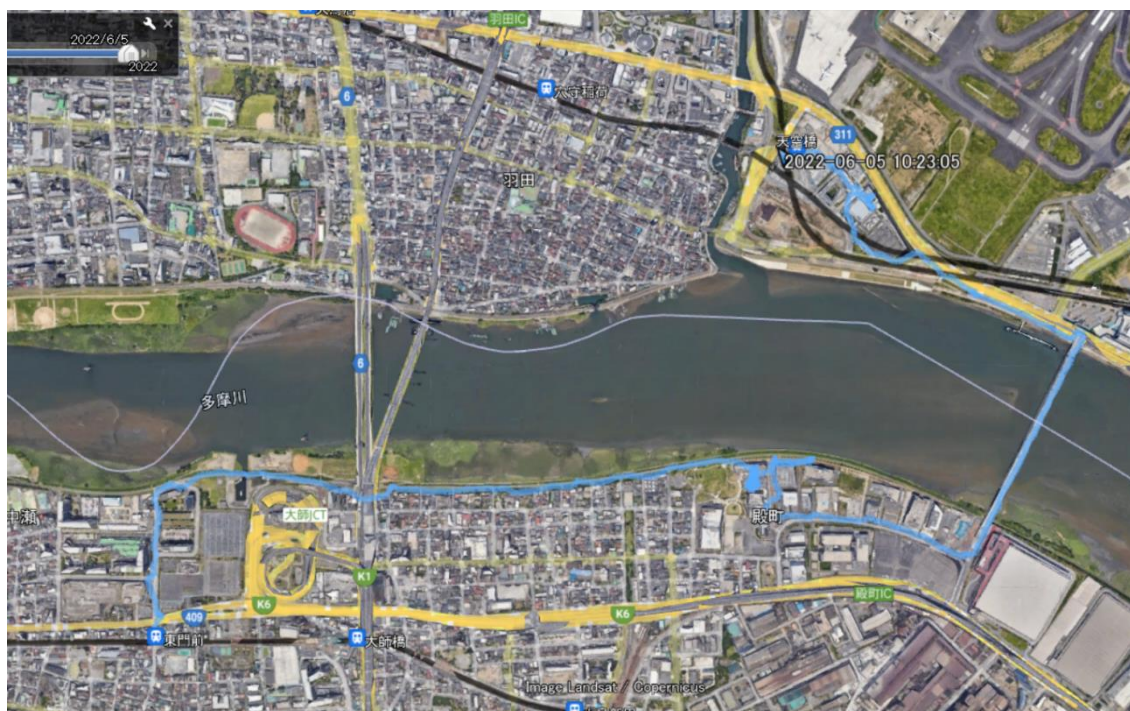
【コース概要】 京急川崎駅集合→東門前駅S…旧富士製鋼跡地…多摩川堤…キングスカイフロント…多摩川スカイブリッジ…羽田イノベーションシティ…旧三町記念碑G…天空橋駅解散

【地図】



京急東門前駅から赤い線が歩いたルート。歩行距離約6.5キロ。
東門前駅 S 10時23分～天空橋旧三町記念碑 G 15時27分 山旅ログのデータより。

【グーグルアース】



青いルートが京急東門前駅から天空橋まで歩いたルート

【写真】



京急川崎駅に 10 時に集合。資料をいただき東門前駅から歩き始めて最初の見学地に向かう。



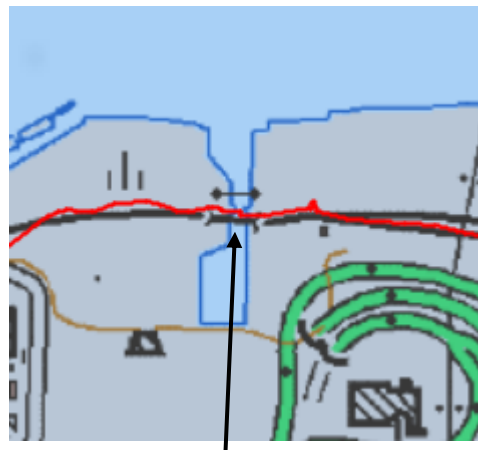
旧富士製鋼の碑



弘法大師は来年 1250 歳になるという。その大祭があるという。現在この地は川崎大師の車の交通安全の祈祷所。過っては富士製鋼があったという。周辺は工業地帯であったが、今はマンションと商業施設の地となっている。時代の移り代わりを知る。



大師の渡しがあった場所。1877年に就航されて羽田の人々は川崎大師へ、川崎の人は穴守稲荷へ。それぞれ渡しを使って交流があったという。1939年に廃止されたという。看板より。



多摩川の水運を利用して工業地帯に荷役をした水門



水門板

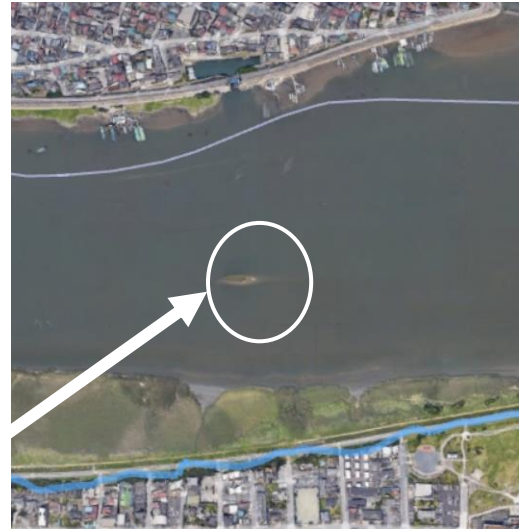




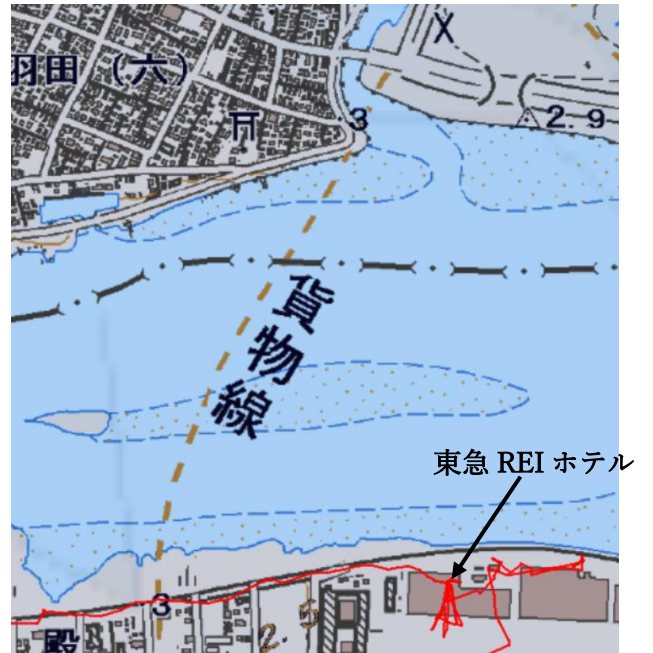
大師橋



首都高の橋。亀裂が発生してきたため更新工事を行っているとの事。



多摩川の流れの真ん中に見える島はネズミ島だという。過ってはこの一帯は梨畑であり、河川改修に反対した地主（鈴木さん？）の名残だそうです。



横浜の高島町方面から塩浜を通って多摩川を横断して品川までいく貨物線。このルートは貨客線として利用する働きかけがあるがまだ実現していない。



東急 REI ホテルにてトイレ休憩。佐藤さんから飴のおもてなしを受けました。感謝です。歩き疲れにちょうどよいおやつでした。ありがとうございました。



東急 REI ホテルは水素から電気エネルギーに変える装置を世界で初めて採用したという。昭和電工の廃プラスチックの製造装置から水素を取り出してパイプラインでこのホテルに供給しているそうです。二酸化炭素を排出しないこれからの先端技術を取り入れたとおききました。



堤防から多摩川スカイブリッジを望む。とてもシンプルで無駄のないスマートな橋だなと思いました。橋長674m、桁下多摩川の川面まで20m。復員17.3m。箱型桁と橋脚が一体構造になったラーメン構造の橋とのこと。



太田区側からみた多摩川スカイブリッジ



キングスカイフロントの施設の内、川崎生命科学・環境研究センターの建物の特徴を説明されていました。水平と垂直をデザインした建物だそうです。縦のスリットは試験管をイメージに多摩川面に向けた窓は引き出しをイメージされたそうです。



キングスカイフロントの施設の全体概要の説明。何を研究しているのかとか。研究内容の概要ではロボットスーツ、ペプチドのアミノ酸から新しい薬を創出するとか、アイソトープの製品、放射線の技術開発とか、国立医薬品食品衛生研究所とか、具体的な研究内容がまだまだ私には理解できませんでした。



国立医薬品食品衛生研究所



RDR ファーマ川崎PETラボ



ジョンソンアンドジョンソン
東京サイエンスセンター



日本アイソトープ協会
川崎技術開発センター



ライフイノベーションセンター



ペプチドドリームがここで研究所を立ちあげるそうです。

以前川崎の光触媒を開発した藤島先生からお聞きした話ですが、論文は何人の研究者がその論文を活用しているかがとても大事だと言う事をお聞きしたことがあります。この研究者たちの論文が大矢さんの説明によると 7%の高被引用論文だと言っていました。マサセチューセツ工科大学を上回っているそうです。多くの研究者に活用されて新しいイノベーションが起きるのでしょね。期待したいです。



橋の正面に巨大ホテルが見えました。コロナでまだ営業開始していないようです。



シラサギ？



展望温泉があるそうです。ただし泊り客のみだそうです。一度どんなホテルか泊ってみたい気持ちはありますね。



日本航空羽田沖墜落事故の碑
1987年（昭和57年）2月9日の墜落事故。
24名の方が亡くなられた。逆噴射という言葉
が記憶に残っている。



スカシユリが満開でした。



ここは空+プロムナード（遊歩道、散歩道）をかけて
ソラムナードと造語したようです。





羽田イノベーションシティ



ようやく遅いランチをいただきました。私はハヤシライスをいただきました。店内は広々としてとても清潔感があるレストランでした。



食事が終わり、この羽田イノベーションシティの各階の施設を巡りました。



戦闘機の操縦を体験できるシュミレーションコーナーです。土日は大変人気のようです。操縦席が3席ありました。今話題のトップガンのトム・クルーズの映画を疑似体験できるようです。私たちが見学していると外国の子供が待機していました。1回お試しコースで3,300円なりでした。AプランからJプランまで10コースのメニューがありました。Dプランの横田基地のタッチアンドゴーなど面白そうだなと思いました。



操縦席



皆さん。食い入るように元操縦員からお話と操縦席を見ていました。



皆さん何を見ているのでしょうか。オートモーターズバス（自律走行バス）でした。イノベーションシティらしいですね。構内を巡る自動運転バスですね。



屋上の足湯に浸かりながら、開けた空間から眺める羽田空港は最高でしょうね。





日本の文化の縁日をテーマにしたテーマパークがありました。節分の豆まき、面化粧、花火など。私たちになじみのある縁日のテーマパークです。



ここは料理を作ったりが配膳したりするロボットです。パーティションの向こうにロボットが見えます。コックもウェイターもすべてがロボットの進化したレストランだそうでそうです。私にはかわいいお嬢さんがニコット笑顔で配膳してくれる方がいいなと思いました。それとも無機質なロボットが可愛いお嬢さんに変身するかもしれませんね。驚きました。



現在建設中の施設。2023年にここに先端医療技術センターが開設されるそうです。名古屋の藤田医科大学病院が入居するそうです。

隣にあった施設は大田区の中小企業の商品ショーケースでした。高速3Dの技術（5時間でできるとか）、光の反射を防ぐ技術などを紹介していました。この大田区は4000以上の中小企業があるそうです。大田区の中小企業がよくオリンピックの競技用に用具を開発しているニュースなどを聞いたことがあります。冬のオリンピックのボブスレーだったかな。南の国の選手の為に作ったと聞いたような気がします。特技を生かしているのですね。



旧三町（羽田町、穴守町、江戸見町）顕彰の碑。

ここに住んでいた人々が空港拡張のため48時間以内に立ち退きを迫られたとの事。それを後世に残すために建てられた記念碑。今ある羽田の過去を忘れないで欲しいとの願いでしょう。ここで解散となりました。沢山のガイドに感謝です。そしてお疲れさまでした。参加者の皆様ありがとうございました。



穴守稲荷の移転した鳥居に掲げてある幕のように平和でありたいですね。

ありがとうございました。